

編集後記

今月の特集として“身体障害とスポーツ”をとりあげました。同様なテーマですでに何回か本誌の特集を組んではおりますが、最近のスポーツ・ブームでリハビリテーション医療のなかでもスポーツのとらえかたがすこしずつ変わった感じもします。

伊藤氏は行政面から横浜市の市民スポーツ振興の延長として、障害者スポーツを総合リハビリテーションの一環として広めてゆく構想を述べておられます。本年10月に開設される横浜市総合リハビリテーション・センター設立の立役者である伊藤氏の“リハビリテーション・スポーツ”での今後の活躍を期待し、同じような障害者スポーツ・センターが日本の津々浦々に広まるようになればと思います。

一方、障害者のスポーツといえば脊損者の車椅子スポーツが代表とされていましたが、緒方氏・他は運動学的に車椅子操作を評価し、リハビリテーション医学のアカデミズムをさぐっておられます。これは、覚張氏・他の脳性麻痺児にたいする水泳活動の応用、また、橋詰氏・他の下肢切断者が水泳出来るような義足の開発、さらには、白野氏・他の“障害者の冬季スポーツ”へ参加するための特別なソリやスキーの工夫など、リハビリテーションのなかでスポーツがおおいに取り入れられるようすが伺わ

れます。

考えてみれば、リハビリテーション医は神経筋・骨関節系の運動器疾患や呼吸循環器疾患をもとりあつかう立場にあり、もつとスポーツ医学を学び、それをリハビリテーション・モダリティーのなかに取り入れてもよいのではないのでしょうか。また、見方を変えれば、リハビリテーション医こそスポーツ医学を専攻するためには最も近い立場にあると思われます。

本号では出江氏・他の“脊損者の肛門括約筋筋電図”の研究報告、伊佐地氏・他の“褥創”の症例報告など興味ある論文です。

連載中の“講座”、“一頁講座”も新しい知識を注入してくれます。また、椿原氏の“米国のリハビリテーションの現状”報告は、米国経済の低迷とそれによるリハビリテーション医療の混迷を如実に物語るものであり、わが国のリハビリテーション医学を専攻するものは、米国を迫従する意味がなくなってしまったために、これから日本独自のリハビリテーションを推し進めていかねばならないでしょう。

読書の秋、また、論文を書く秋。さきの学会で発表したものをまとめてどしどし投稿してください。

(千野 直一)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第15巻 第10号)
1987年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金 原 優

1 部定価 1,650円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 21,560円)
(但し、増大号を含む)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1987, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。